

ワーキングチームの検討案

別紙1

1. 目的

「地域全体での歩行者と車両のバランスに関する交通計画」を検討するためには、自由が丘一丁目29番地区（以下「1-29 地区」という）の開業前後に合わせて、自由が丘駅周辺の歩行者と自動車の交通量がどのように変化し、まちへの影響がどのようなものとなるのかを検証し、今後予定されている再開発事業や道路と鉄道の立体化、まちの更新などを踏まえて、都市計画道路のあり方、自由が丘駅周辺地区全体の交通計画を検討する。

なお、ワーキングチームで検討した内容を「エリプラ会議」で議論し、「自由が丘エリアプラットフォーム」として方向性を決定する。

2. 主な調査内容

1) 自動車交通量調査

- ・1-29 地区の開業前・開業後について、周辺駐車場の利用状況、1-29 地区開業後の駐車場利用状況の調査を実施して変化を検証。（平日及び日祝日）

2) 歩行者交通量調査

- ・1-29 地区の開業前・開業後について、自由が丘駅周辺地区内の歩行者数の調査を実施して変化を検証。（平日及び日祝日）

3) 関係者へのアンケート及びヒアリングの実施

- ・来街者やテナント、商店街振興組合、住民組織、1-29 地区提携駐車場周辺などにアンケートやヒアリングを行い、1-29 地区開業後の変化を確認。

4) その他

- ・自由が丘駅周辺地区の売上の変化など